

## Ⅱ 専任教員中心の講師陣による特色ある講座プログラム

### ■ 短期カレッジ

八洲学園大学生涯学習学部生涯学習学科が、エクステンションセンターにおいて提供する実務的・実践的な内容の短期完結講座です。今期は、『店舗経営』に活かせる簿記知識を学ぶ～美容院からコンビニまで～、「社会保険労務士試験対策（中級編）」、「ビジネス・キャリア検定「労務管理3級」受験一括セット講座」、「中小企業診断士 入門講座」を開設します。

### ■ プラチナエイジ大学講座

各分野の講座から主に中高年の方々に受講していただきたい講座を「プラチナエイジ大学講座」として構成しました。プラチナエイジ大学指定講座については、講座一覧をご覧ください。ご希望の方には、プラチナエイジ大学の修了証を発行いたします（有料。受講規約参照）。

### ■ 単位認定講座

「単位認定講座」として指定された講座は、八洲学園大学の正科生又は科目等履修生になって受講すれば、学部開設科目「特別講義」の単位を修得できます（単位修得には所定の時間数を受講し、試験（レポート等）に合格する必要があります）。90分4回の講座を2講座受講することにより、1単位を修得することができます。

#### ●特別講義「現代社会に活かす知術4(a)」1単位

- 次の3講座のうち2講座受講で1単位
- ・『店舗経営』に活かせる簿記知識を学ぶ～美容院からコンビニまで～
- ・「社会保険労務士試験対策（中級編）」
- ・「生活とエネルギー」

#### ●特別講義「家庭教育基礎論2(a)」「家庭教育基礎論2(b)」各1単位

- 次のA～Dグループ（いずれも「家庭教育師養成基礎講座」の中から2グループ受講ごとに1単位
- A「江戸時代の子育てと教育」「女性像と男性像、そして夫婦の役割」「ネット社会における家庭教育」「日本の民俗伝統にみる子育ての今昔」
  - B「子どものやる気を引き出す心の教育」「子どもが体験することの意味」「発達障害の気づきと家庭での早期教育」「引きこもりとその支援」
  - C「子どもの忍耐と勇気を育む」「子どもの自立と親の自立」「家庭と道徳性形成」「いま育みたい徳について考える」
  - D「遊びを通してみる子どもの成長」「高校生の進路と人生」「家庭での健康づくり」「子どものスポーツ」

#### 【注意事項】

- ※学期をまたいで受講時間数を合算することはできません。
- ※過去の学期に受講して単位を修得した講座と同一タイトルの講座は、単位認定の対象になりません。
- ※受講を希望する単位認定講座の開講日時が、学部履修科目のスクーリング授業日程に一部でも重なる場合は、単位認定講座受講による単位修得はできません。時間割をよく確認してから申し込んでください。（なお、単位修得を希望しない場合は、受講申込をしてオンデマンド受講することは可能です。）

### ■ 家庭教育師養成基礎講座

#### ◆家庭教育師とは◆

家庭教育師とは、家庭教育に関する専門的知識を有する人に対して、日本家庭教育学会が審査のうえ認定する民間資格です。家庭教育師は、社会において家庭教育の指導・助言に当たるなど、家庭教育の向上および地域文化の創造に資する活動を担うことが期待されます。

#### ◆資格申請要件◆

以下のいずれかを満たすとともに、日本家庭教育学会の会員となる必要があります。

教育職員免許状をおもちの方	「家庭教育の専門に関する科目」**を10単位以上修得すること。
保育士の資格をおもちの方	「家庭教育の専門に関する科目」**を10単位以上修得すること。
上のいずれにも該当しない方	「日本家庭教育学会が認定する家庭教育に関する科目」を30単位以上修得すること***。

\* 詳しくは、日本家庭教育学会ウェブサイトでご確認ください。

<http://www.soc.nii.ac.jp/jhes2/index.html>

\*\*「家庭教育の専門に関する科目」は、下に示す**家庭教育専攻専門科目**がすべて該当します。

\*\*\* これ以外にも、大学で家庭教育に関する研究・教育に携わっている人に適用される申請要件、「永年にわたり家庭教育の向上に携わり、指導的な立場で社会貢献をしている」人に適用される申請要件があります。

#### ◆家庭教育師養成基礎講座◆

「家庭教育師養成基礎講座」は、広く家庭教育に関心をおもちの方々から選択受講していただけると同時に、日本家庭教育学会認定「家庭教育師」資格を取得するための基礎ともなる講座です。「単位認定講座」ですので、本学の正科生又は科目等履修生となって受講すれば、学部の単位も取得可能です（所定の時間数を受講し試験に合格することが必要です）。取得した単位は、家庭教育師の資格申請要件の一部として数えられます。

※ 所定の期間に出願して書類選考に合格すると正科生・科目等履修生になることができます。

#### ◆家庭教育専攻専門科目◆（平成23年度秋学期開講科目の一部\*）

家庭教育学新構想、家庭教育研究法、日本家庭教育史（近代以後）、西洋家庭教育史、東アジア家庭教育論、教育心理学概論Ⅱ、胎児と環境、乳幼児の食生活、幼児教育思想史、障害児と家庭教育、生命尊重と家庭教育、宗教的心情の育成と家庭、地域社会との連繋、伝統社会の児童教育論、体験と心の育ち、働く意欲の探求、児童の発達と身体運動論、レクリエーション活動の指導論、言語生活と社会、善悪の判断形成と家庭教育（演習）、正義感の育成、個性尊重と創造性の育成、公共精神の育成（演習）、中高生の武道スポーツと人間形成（演習）、青年期の身体運動、道徳教育の研究、徳の倫理、カウンセリング（演習）（乳幼児と母親）、カウンセリング（演習）（小学生と親）、カウンセリング（演習）（面接技法Ⅱ）、ケーススタディ（演習）「幼児の体罰と虐待」、ケーススタディ（演習）「中学生の不登校と生活環境」、ケーススタディ（演習）「高校生非行の実態と要因分析」、ケーススタディ（演習）「青年期のドロップアウト」、現代社会といやし、他

\*すべて2単位科目